

ダニ媒介性脳炎対策としてのマダニ咬着犬・猫の抗体およびウィルス分離調査への協力依頼

高橋 徹

(北海道獣医師会 会長)

高良 広之

(小動物臨床部会 担当理事)

昨年4月15日に行われた北海道医師会・北海道獣医師会連携シンポジウムにおいて、ダニ媒介性脳炎の講演が行われました。その後、本会誌を通して標記のご依頼を行いましたところ、会員の皆様のおかげで全道で40病院のご協力が得られ、10振興局から265検体が集まりました。そのうち抗体陽性が4検体確認され(石狩、胆振、渡島、空知 各1件)、付着したダニ1匹からウィルスが分離されました。ヒトの生活圏内においてダニ媒介性脳炎に感染するリスクがあることが確認されました。

また、昨年の北海道獣医師大会において「人獣共通感染症としてのダニ媒介性疾患の医学界との連携強化推進について」提案し採択されました。本年度も本調査を継続し、臨床獣医師の立場だからこそ可能な人獣共通感染症の流行防止への貢献になればと考えています。昨年は5月末からの調査になりましたので時期を逸した感がありました。今年は4月から調査開始し、より現場に則した調査になるようにしたいと考えています。調査方法につきましては下記の通りで昨年と同様です。

時節柄、大変お忙しいとは存じますが、どうぞご協力お願いいたします。

ご協力依頼内容

1. マダニを採取し、チューブなどに入れて、病院名と検体番号を記載して冷凍保存
2. 犬・猫から採血、血清分離(0.5ml以上)し、病院名と検体番号を記載して冷凍保存
3. ダニ媒介性脳炎疫学調査記録シートを記入
4. 検査期間 10月末日まで
5. マダニ媒介性脳炎資料(18年シンポジウム資料)、飼い主向け依頼文、調査シート、北大への送付書などメールにてお問い合わせください。折り返しお送りします。

E-mail : kora@earth-pet.jp

6. ある程度検体が揃いましたら検体送付をお願いします。

送付先 : 〒060-0818

札幌市北区北18条西9丁目

北海道大学大学院獣医学研究院 公衆衛生学教室

好井 健太郎 准教授宛て

TEL 011-706-5212

※ 検体は冷凍のまま、月曜日から金曜日に届くようにお送りください